



にっしょう

日商だより

☆第104号☆

■■■この「日商だより」は、私たちと何かのご縁があった方々に、差し上げている通信誌です。■■■

◆電子帳簿保存法が改正されます！◆

電子帳簿保存法とは、「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿の保存の特例に関する法律」です。

これまで紙で保存しなければならなかった帳簿や書類を、一定の要件を満たせばデータで保存・管理することを特例として認める法律です。

2022年1月の大幅改正で、ハードルがこれまでよりも低くなります。

今まで経理担当を悩ましていた、見積書・請求書・領収書・契約書など取引書類を7年～10年の間、紙で保存義務があったものを、「電子帳簿保存」「スキャナ保存」「電子取引」の3つの方法で、データでの保存が可能です。

①[電子帳簿等保存]

会計システムなどで電子的に作成した帳簿・書類をデータのまま保存

②[スキャナ保存]

取引先の相手から受領する書類をデジタル化して保存

③[電子取引]

取引先の相手方から受領する電子請求書など

電子化するメリットとしては、アナログで手間のかかる経理の事務作業から解放されます。政府は、コロナ禍で浮き彫りになった企業のデジタル化の問題に対して、令和3年度税制大綱の中でDXの取り組みを強化する方針を打ち出しています。納税環境についてもデジタル化を推進し、令和4年(2022年)1月から施行される改正電子帳簿保存法では、国税関係帳簿書類を電磁的に保存するための要件を大幅に緩和し、経理のペーパーレス化が大きく後押しされます。

この機会に書類の電子化を初めて、経理の生産性向上、テレワークに取り組む会社も多くなると思われます。

(裏につづく→)

日商器材では、電子化に取り組む会社のサポートとして、各種スキャナ、販売管理ソフト、データバックアップ、クラウドシステムのご提案を行っています。

また、電子化に関する各種セミナーもご案内していますのでお気軽にご連絡下さい。
日商器材 営業部 後藤 渉

◆冬キャンプに向けて◆

10月1日に緊急事態宣言が解除されました。感染率も下がりましたが、まだマスクをつける生活は、とうぶん続くと思われます。

これまで、春、夏、秋とキャンプをしてきましたが、冬は行ったことがなく、冬用の装備を少しずつ集めていきたいと思っています。

子供が小学生で、まだ一緒にキャンプに行ってくれるので、人数がいても寒くならないよう、石油ストーブを検討しています。石油ストーブは、キャンプ用のおしゃれなものもあります。

冬キャンプといえば、薪ストーブですが、煙の排気のためテントに穴を開けたり、煙突が倒れないようにしたりと、けっこう大変です。また、ストーブを使用する場合は、一酸化炭素中毒にならないよう、防災用の検出器など使用して、くれぐれも注意して下さい。



日商器材 後藤 渉

【発行者プロフィール】

日商器材株式会社 代表取締役 後藤 渉 (ごとう わたる)

◆生年月日:昭和51年5月6日生まれ ◆出身地:三重県桑名市

◆経歴:精義小学校→陵成中学校→川越高校→中京大学経済学部

→キャノンマーケティングジャパン(株)(旧・キャノン販売(株))→日商器材(株)

◆趣味:写真 主に一眼レフで撮る写真ですが動画も好きです。



後藤 渉

【発行元】 O A機器・複写 情報サービス・測量機

NSK 日商器材株式会社

〒511-0068 三重県桑名市中央町2-26

TEL:0594-21-2600

FAX:0594-21-2685

※お気軽にお問い合わせください!

